

各位

MediciNova, Inc.  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一  
コード番号： 4875 東証 JASDAQ  
問合わせ先： 東京事務所代表 副社長  
岡島 正恒  
電話番号： 03-3519-5010  
E-mail： [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

## ラッセル 2000 指数 (Russell2000) 及びラッセル・グローバル指数の 構成銘柄への採用について

**2016年6月26日** 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼CEO：岩城裕一) は、当社が、2016年6月24日(金曜日)の米国株式市場終了後、ラッセル2000指数及びラッセル・グローバル指数の構成銘柄として採用されましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2016年12月期の業績予想に、本件の影響による変更はありません。

### 【ラッセル指数について】

ラッセル指数は、フランク・ラッセル・カンパニーが公表する時価総額加重平均型(浮動株調整後)の指数です。米国の上位3000社の株式に連動しており、この3000銘柄で米国株式市場の時価総額の約98%を占めています。ラッセル3000指数は上位1000銘柄で構成されるラッセル1000指数と下位2000銘柄で構成されるラッセル2000指数に分けることができます。当社の該当するラッセル2000指数は、上位から1001~3000番目までの中小株2000銘柄で構成され、中小型株のベンチマークとして広く利用されています。ラッセル2000指数は、時価総額が約2兆米ドル(約210兆円)、連動するETFの残高合計が約4百億米ドル(約4.2兆円)と米国の機関投資家が最も利用している米国中小型株のベンチマークです。

ラッセル・グローバル指数は、米国企業3000社(ラッセル3000)に米国外企業7000社(45カ国)を加えた1万社の指数で、グローバル・セグメントの総合的で公平な指標となるよう構成されています。ラッセル・グローバル指数は、すべての投資可能な株式を基にグローバル株式市場の業績を評価し、決定されます。ラッセル・グローバル指数のすべての株式は、規模、地域、国、セクターごとに分類されているため、この指数は数千の個別のベンチマークに分けることができます。ラッセル・グローバル指数は、グローバル・セグメントの総合的で公平な指標となるよう構成されており、長期の市場の変化を正確に反映させています。ラッセル3000指数はラッセル・グローバル指数の米国部分です。

以上

## メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。現在当社は、進行型多発性硬化症、ALS、薬物依存（メタンフェタミン依存、オピオイド依存など）をはじめとする多様な神経系疾患を適応とするMN-166（イブジラスト）及びNASH、肺線維症など線維症疾患を適応とするMN-001（タイプルカスト）に経営資源を集中することを戦略としております。ほかに喘息の急性発作適応のMN-221（ベドラドリン）及び固形がんを適応とするMN-029（デニブリン）も当社のパイプラインの一部です。MN-166についてはさまざまな適応で開発途中ですが、そのほとんどが、治験責任医師または公的、私的機関からの資金援助により行われています。当社はさらに、戦略的提携または共同機関の資金提供を受けるべく交渉を続けております。

弊社詳細につきましては<http://www.medicinova.jp>をご覧ください。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート650、エグゼクティブ・スクエア4275（電話1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221及びMN-029の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、またはMN-029を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発及び商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した2015年12月期のForm10K及びその後の10Q、8Kなど届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。